

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 澁澤倉庫株式会社
 コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 笠原 伸次
 (氏名) 真鍋 雅信
 配当支払開始予定日

TEL 03-5646-7234
 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	23,585	△17.1	336	△68.8	236	△77.1	148	△71.6
21年3月期第2四半期	28,450	—	1,077	—	1,030	—	520	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1.95	—
21年3月期第2四半期	6.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	90,107	32,049	34.5	409.00
21年3月期	83,979	31,506	36.4	402.09

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 31,101百万円 21年3月期 30,576百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.50	—	2.50	6.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,400	△8.7	1,300	△28.9	950	△36.2	530	51.4	6.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

修正についての具体的な内容は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報に記載しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	76,088,737株	21年3月期	76,088,737株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	46,085株	21年3月期	45,441株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	76,043,016株	21年3月期第2四半期	76,046,836株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年8月7日発表の連結業績予想を修正しております。

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる事項については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

(参考) 平成 22 年 3 月期の個別業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△7.9	1,300	△33.8	1,000	△41.2	640	△9.5	8.42

(注) 1. 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)のわが国経済は、一部に持ち直しの動きがみられたものの、生産活動が低水準にとどまったほか、雇用情勢の悪化を背景に個人消費の低迷や企業収益の大幅な減少が続くなど、厳しい状況で推移しました。

こうした経済情勢にあつて、物流業界におきましては、国内貨物、輸出入貨物ともに荷動きが依然低水準だったことに加え、さらなるサービスの高度化や効率化への対応が求められるなど、事業環境は大変厳しい状況が続きました。また、不動産賃貸業界におきましては、入居テナントの賃借面積縮小化の動きなどにより、都市部のオフィスビルの空室率が増加傾向にあるなか、賃料相場は下落基調が鮮明となり、オフィスビル市況は厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開するとともに、コスト管理の徹底と業務効率の向上に一層注力し、業績の確保に努めました。物流事業におきましては、関西地区の大型拠点として本年7月に神戸ポートアイランドに港島営業所(営業倉庫延床面積46,283㎡)を開設したことに加え、9月には埼玉県三郷市に三郷営業所の第二倉庫(借庫)(営業倉庫延床面積3,807㎡)を稼働させ、流通加工業務への対応をさらに強化するなど、拠点整備を進めてまいりました。また、不動産事業におきましては、現有資産の有効活用策の一環として本年8月に東京都江東区へ本社を移転し、新本社ビルの一部および旧本社ビルを新たに賃貸用オフィススペースとしたほか、9月には東京都中央区において「澁澤シティプレイス蛸殻町」(地上7階建、延床面積15,642㎡)を竣工させるなど、収益基盤の強化に努めてまいりました。その他事業のゴルフ場の経営につきましても、引き続き集客営業の推進と運営コストの低減に注力し、健全経営の維持に努めました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、営業収益につきましては、景気低迷の影響により、主力の陸上運送業務をはじめ荷動きが総じて低調だったため、前年同期比48億6千4百万円(17.1%)減の235億8千5百万円となりました。営業利益は、コスト削減に一定の成果があったものの、物流事業における収益減に伴う利益の減少や固定資産の取得一時費用の発生に加え、不動産事業における一部賃貸施設の解約の影響もあり、前年同期比7億4千万円(68.8%)減の3億3千6百万円となりました。さらに、コミットメントライン更新費用等の金融関係費用の増加などもあり、経常利益は、前年同期比7億9千3百万円(77.1%)減の2億3千6百万円となりました。また、四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益7千7百万円を特別利益に計上しましたが、本社等事業所移転費用など3千5百万円の特別損失が生じ、前年同期に比べ、3億7千2百万円(71.6%)減の1億4千8百万円となりました。

(セグメント別の概況)

当社グループの事業セグメント別の概況は、次のとおりでございます。

物流事業

倉庫業務は、景気低迷の影響を受け、保管残高や出入庫量が減少したため、保管料、荷役料ともに減少し、営業収益は前年同期比4億5千6百万円(10.6%)減の38億6千8百万円となりました。

港湾運送業務は、輸出鋼材など来船貨物に係る船内荷役業務の取扱いが大幅に減少したことに加え、輸出入荷捌貨物の取扱いが低調だったため、営業収益は前年同期比8億2千7百万円(25.7%)減の23億9千5百万円となりました。

陸上運送業務は、メーカー各社の生産調整のほか天候不順による夏型商品の売れ行き鈍化が加わり、長距離、地場ともに輸送量が大幅に減少し、また、フェリー航送や引越業務も低調に推移したため、営業収益は前年同期比21億2百万円(14.6%)減の122億9千5百万円となりました。

国際輸送業務は、自動車関連部品など主力貨物の取扱いが不調だったことにより、航空貨物の輸出入取扱いが大幅に減少したことに加え、海上貨物についても日本／アジア間の国際一貫輸送や海外荷捌業務の取扱いが同様に推移したため、営業収益は前年同期比11億8千3百万円(44.2%)減の14億9千6百万円となりました。

その他の物流業務は、通運業務の取扱いは前年同期並みに推移したものの、輸出の激減から輸出梱包業務が大幅に減少したため、営業収益は前年同期比8千2百万円(11.0%)減の6億6千8百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比46億5千1百万円(18.3%)減の207億2千4百万円となりました。

不動産事業

一部賃貸施設における解約の影響があったため、営業収益は前年同期比2億2千1百万円(7.9%)減の25億9千7百万円となりました。

その他事業

ゴルフ場運営につきましては、集客営業に努めたことに加え、会員関連収入の増加により、営業収益は前年同期比6百万円(2.4%)増の2億8千9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、有形固定資産の取得および投資有価証券の時価評価による増加等により、前期末に比べ61億2千8百万円増加し、901億7百万円となりました。

負債につきましては、設備関係手形、借入金および長期預り金が増加したことなどにより、前期末に比べ55億8千4百万円増加し、580億5千7百万円となりました。

また、純資産につきましては、配当金の支払いがあったものの、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益の計上等により、前期末に比べ5億4千3百万円増加し、320億4千9百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前期末に比べ1.9ポイント減少し、34.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローの減少がありましたが、営業活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で10億2千3百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、69億3千5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費による資金留保および長期預り金の増加等により、18億7千3百万円の増加(前年同期比10億1千3百万円の減少)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入等があったものの、有形固定資産の取得による支出等があったため、16億2千万円の減少(前年同期比29億5千8百万円の増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったものの、長期借入れによる収入があったため、7億2千2百万円の増加(前年同期比34億2千2百万円の減少)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績が予想を下回って推移したことに加え、国内外の景気回復の足どりは重く、第3四半期以降も国内貨物、輸出入貨物とも荷動きに大きな改善は見込まれないと推測されますことから、当社におきましては、神戸ポートアイランドの港島営業所および賃貸ビル「澁澤シティプレイス蛸殻町」がそれぞれ本格的に稼働いたしますものの、通期業績は予想を下回るものと思われま

す。さらに、第3四半期（平成21年10月1日～平成21年12月31日）において、当社では投資等損失引当金戻入益（約1億6千万円）の特別利益が見込まれる一方、連結子会社において賃借倉庫施設の早期解約に伴う違約金等（約1億円）の特別損失が見込まれますので、平成21年8月7日に発表した通期の業績予想数値を次のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	51,000	1,540	1,050	530	6.97
今回修正予想（B）	48,400	1,300	950	530	6.97
増減額（B－A）	△2,600	△240	△100	—	—
増減率（%）	△5.1	△15.6	△9.5	—	—
前期実績	52,988	1,828	1,489	349	4.60

（参考）

通期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	44,200	1,410	990	500	6.58
今回修正予想（B）	42,000	1,300	1,000	640	8.42
増減額（B－A）	△2,200	△110	10	140	—
増減率（%）	△5.0	△7.8	1.0	28.0	—
前期実績	45,579	1,962	1,701	707	9.30

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,379	5,276
受取手形及び取引先未収金	8,397	8,099
有価証券	2,201	4,501
その他	2,017	1,970
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	18,979	19,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,417	22,656
土地	21,338	21,339
その他(純額)	3,016	8,461
有形固定資産合計	58,773	52,457
無形固定資産		
投資その他の資産	787	781
投資有価証券	8,625	7,807
その他	2,996	3,140
貸倒引当金	△91	△81
投資その他の資産合計	11,530	10,867
固定資産合計	71,091	64,106
繰延資産	37	42
資産合計	90,107	83,979

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,292	4,279
短期借入金	12,211	11,618
未払法人税等	156	89
引当金	530	562
その他	10,455	6,629
流動負債合計	27,646	23,180
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	10,983	10,649
長期預り金	8,727	7,804
退職給付引当金	2,221	2,260
その他の引当金	292	292
その他	1,186	1,285
固定負債合計	30,411	29,292
負債合計	58,057	52,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	16,764	16,806
自己株式	△17	△17
株主資本合計	30,258	30,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,157	650
為替換算調整勘定	△314	△374
評価・換算差額等合計	843	276
少数株主持分	948	929
純資産合計	32,049	31,506
負債純資産合計	90,107	83,979

(2) 四半期連結損益計算書
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,402	2,163
倉庫荷役料	1,922	1,704
荷捌料	6,056	4,012
陸上運送料	14,397	12,295
物流施設賃貸料	422	437
不動産賃貸収入	2,791	2,572
その他	457	400
営業収益合計	28,450	23,585
営業原価		
作業費	18,606	14,814
賃借料	1,441	1,397
人件費	1,624	1,519
減価償却費	1,072	1,158
その他	2,951	2,815
営業原価合計	25,696	21,706
営業総利益	2,753	1,878
販売費及び一般管理費	1,676	1,542
営業利益	1,077	336
営業外収益		
受取利息	51	33
受取配当金	152	150
その他	51	69
営業外収益合計	255	253
営業外費用		
支払利息	260	262
その他	42	91
営業外費用合計	302	353
経常利益	1,030	236
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	—	77
特別損失		
本社等事業所移転費用	—	27
投資有価証券評価損	42	—
その他	—	7
特別損失合計	42	35
税金等調整前四半期純利益	987	278
法人税等	467	149
少数株主損失(△)	△1	△19
四半期純利益	520	148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	987	278
減価償却費	1,102	1,198
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29	△38
受取利息及び受取配当金	△203	△184
支払利息	260	262
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△77
投資有価証券評価損益(△は益)	42	14
固定資産売却損益(△は益)	△6	△1
固定資産除却損	1	9
持分法による投資損益(△は益)	13	△13
売上債権の増減額(△は増加)	1,464	△295
仕入債務の増減額(△は減少)	△231	11
その他	△827	879
小計	2,562	2,052
利息及び配当金の受取額	1,069	184
利息の支払額	△216	△278
法人税等の支払額	△528	△85
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,887	1,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△1,528
定期預金の払戻による収入	1,745	790
有価証券の純増減額(△は増加)	—	3,000
有価証券の取得による支出	△4,492	—
有形固定資産の取得による支出	△530	△3,813
有形固定資産の売却による収入	24	19
無形固定資産の取得による支出	△17	△36
投資有価証券の取得による支出	△1,277	△180
投資有価証券の売却及び償還による収入	6	145
貸付けによる支出	△40	△38
貸付金の回収による収入	22	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,579	△1,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△219	△5
長期借入れによる収入	2,434	2,092
長期借入金の返済による支出	△4,748	△1,160
社債の発行による収入	6,947	—
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△266	△190
少数株主への配当金の支払額	△0	—
リース債務の返済による支出	—	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,144	722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,441	1,023
現金及び現金同等物の期首残高	4,744	5,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,186	6,935

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	25,376	2,791	282	28,450	—	28,450
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	27	0	27	(27)	—
計	25,376	2,819	282	28,478	(27)	28,450
営業利益又は営業損失(△)	582	1,324	△6	1,900	(823)	1,077

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	20,724	2,572	288	23,585	—	23,585
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	0	24	0	25	(25)	—
計	20,724	2,597	289	23,611	(25)	23,585
営業利益	62	1,039	14	1,116	(780)	336

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な業務

当社グループの事業活動は、役務の提供方法から物流事業とオフィスビルの賃貸を主体とする不動産事業に大別されます。

各事業に属する主要な業務は次の通りであります。

- ① 物流事業・・・倉庫保管・荷役、港湾運送、陸上運送、国際輸送、物流施設賃貸等の業務
- ② 不動産事業・・・オフィスビル等の賃貸、不動産管理等の業務
- ③ その他事業・・・ゴルフ場運営等の業務

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの営業収益の合計に占める日本の割合が、90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結営業収益の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。